

共同利用施設の再編集約・合理化に関する事例【果樹、中国四国農政局】

愛媛県 えひめ南農業協同組合（新基本計画実装・農業構造転換支援事業：R7～R9）

- JAえひめ南管内の4つのかんきつ共選場の選果機能を再編集約。AI選果機やパレット自動出荷設備を整備。
- 新施設の整備は、平成30年の西日本豪雨災害からの復興途上にある産地において、単なる施設の統廃合にとどまることなく、持続可能な柑橘農業を支える営農基盤の再構築を加速化。

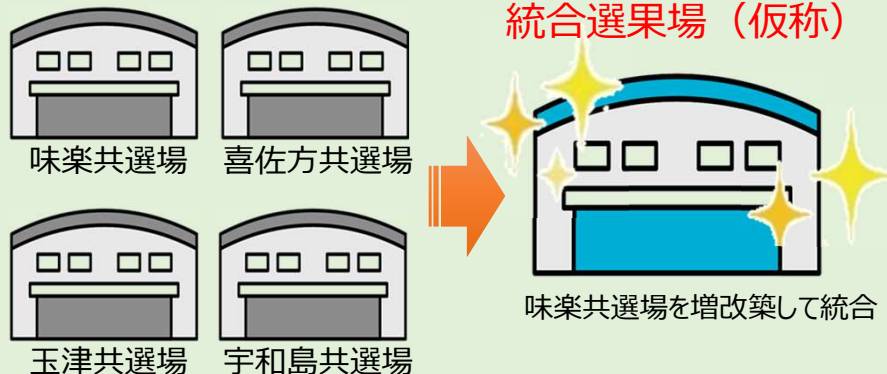
現状・課題並びに再編集約等の内容

【産地の現状・課題】

- 生産者が高齢化や減少する中、担い手への園地集約により家庭選果負担が増加し、生産量が減少している。
- 選果機の老朽化の進行や資材・物流コストの上昇など、構造的課題が急速に顕在化している。

【再編集約等の内容】

- 4つのかんきつ共選場の選果機能を1施設に集約し、AI選果機とパレット自動出荷設備を新たに整備するとともに、従来の4つの産地ブランドを1つに統一する。
- その他の共選場については、既存の選果ラインを撤去し、荷受などの施設として活用する。



再編集約・合理化等で期待される効果

- 選果機能の集約による省人化に加え、AI選果機の導入に伴う家庭選果の負担軽減効果により、労働生産性の向上が図られるとともに、1戸当たりの経営面積の拡大が可能となる。
- AI選果による高精度な等階級選別に加え、AIデータ等を解析し、生産改善につなげることで高品質果実の生産拡大を図る。
- パレット自動出荷設備の導入により、トラックへの人力による個別積込からパレット輸送へ転換することで、物流の確保が可能となる。



【労働生産性（円/時間）】

他産地へのメッセージ

- JAでは、共同利用施設の再編整備を統括する「施設再編対策課」を新たに創設し意思決定の迅速化等を進めることで、本施設に加え、水稻育苗施設の再編も同時に事業化を図ることができた。

【施設再編対策課創設のねらい】

・再編業務の集中化 ・対応の迅速化 ・施設再編の統括役として総合力・執行力向上

- 歴史ある4地域の統合であり、各生産者組織と産地を次代につなげる意見交換を重ね合意できた。さらに早期から市町等への情報提供や協議を重ね信頼関係を構築し円滑な事業化を図った。